情報共有ツールの活用

　指導者間で情報共有を進めておくことができると、万が一の時に、使用施設や、接触の可能性のある人物の特定、また必要な部署への連絡等がスムーズに進みます。特に複数の授業やグループ（部）で場所を共有する（入れ替えや並行して）ような場合に役立ちます。
　Google form やスプレッドシートを利用し体調不良者の報告管理等をリアルタイムで実施できる方法の例をご紹介します。

Google form で質問シートを作成します。

質問内容は、各組織のニーズに合わせた質問を設定することができます。
フォームの(URL)を一度共有すればURL を知っている教職員はすぐに書き込みが可能です。

学校アカウント等組織アドレスで、記録者・アクセス者を限定することも可能です。

生徒・学生に毎日体温・体調を入力してもらい、特定のグループごとで管理することもできます。

スプレッドシート

入力された内容は、自動的にスプレッドシートに反映されます。
スプレッドシートのリンクの責任者間での共有が可能です。
アプリをダウンロードすれば、PC に限らずスマートフォンからも入力内容の確認が可能です。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	タイムスタンプ	記入者名	関わった場面	日付	受診の有無	部活動	症状の詳細		
2	2021/04/21 18:04:42	教員A	電話・メール	2021/04/01	受診した	ダンス	4/1発熱と連絡あり。兄も発熱している模様。受診・pcr検査を実施予定		
3	2021/04/21 18:05:57	教員F	授業	2021/04/03	受診した	無所属	月曜2限に出席 鼻水・咳の症状があるとのこと		
4	2021/04/21 18:07:16	教員C	電話・メール, 授業, 部活	2021/04/03	不明	ダンス	保護者から電話を受けた。 昨晩発熱、本日通院のため欠席		
5									
6									
7									
8									